

猫パルボウイルス (FPV)

FPVとは汎白血球減少症ウイルス (FPLV) と犬パルボウイルス2型 (CPV-2) の総称です。猫は汎白血球減少症ウイルス (FPLV) 以外に犬パルボウイルス2型 (CPV-2) にも感染します。

★検査材料は遺伝子専用としてお送りください。遺伝子以外の項目と重複している場合は必ず遺伝子用に材料を分けてください。

項目名	検査材料	送付方法	所要日数	検査方法	検査項目の説明、注意事項
FPV 遺伝子★	 糞便 適量	 常温 冷蔵	4日以内	PCR	1. 高感度に検出します (抗原検査に比べ約100倍高感度です)。 2. 本検査はFPLVとCPV-2を区別して検出します。 ワクチンの影響 FPLV生ワクチン接種後3週間ほどは遺伝子が検出されることがあります (不活化ワクチンでは遺伝子は検出されません)。
	 全血  血清 (血漿) 0.4mL				
FPV IgM抗体	 血清 (血漿) 0.1mL	 常温 冷蔵 △	4日以内	2ME-HI	1. IgMはやや不安定ですので夏季は普通郵便以外 (速達や宅急便) の利用をお勧めします。 ワクチンの影響 FPLVワクチン接種2週間以内の場合はワクチンによるIgMが検出されることがあります (特に生ワクチンで可能性が高い傾向があります)。
FPV HI抗体	 血清 (血漿) 0.1mL	 常温 冷蔵	4日以内	HI	1. FPLVワクチン未接種の幼齢猫 (4ヶ月齢以下) の場合のみ本検査での診断が可能です。 1ヶ月齢 ▶ 2,560以上 2ヶ月齢 ▶ 320以上 3ヶ月齢 ▶ 40以上 4ヶ月齢 ▶ 10以上 2. ワクチン効果判定には猫ワクチンセット (30ページ) をご利用ください。